

これからの新しい

観光振興を目指して



あがりご大王



鳥海山と仁賀保高原



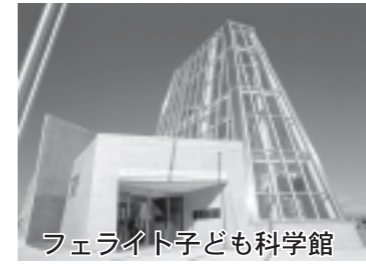
象潟海水浴場



元滝伏流水



白瀬南極探検隊記念館



フェライト子ども科学館

市民と協働で目指す 市の観光振興について

県と市町村、観光関連団体が連携し、全県が一丸となって誘客促進に向けた観光キャンペーンを展開しています。

にかほ市の多彩な観光資源を活用し、広く国内外に向けたPRや、地域主体の取り組みによる受け入れ態勢の整備等、観光振興や交流人口の拡大による地域活性化を目指しています。

近年は、団体型から個人や家族、グループといった小団体の旅行形態へ、また通過型旅行から、おいしい味覚や地域との交流等の着地型旅行へと大きく変化しています。そのため、こうした変化に対応した旅行商品の企画や売り込み等、今後の観光振興の取り組みや施策として展開していく必要があります。

◎タイムリーな情報発信を！

市観光協会をはじめ、市商工

会や地元関係団体との連携、由利本荘市や県境を越え遊佐町・酒田市・鶴岡市等と連携した各種協議会を活用しながら、情報発信活動を展開しています。

東北観光博やJRのデスティネーションキャンペーン、国民文化祭等の大きなイベントもあることから、いままで以上の広域連携も視野に入れ、県内外・北東北への情報発信に取り組みでいきます。また、文化団体やスポーツ団体等との連携による、文化事業やスポーツイベントの招致等も、恵まれた自然や歴史・文化とともに大きな観光の要素と捉えています。このほか、風車建設が縁での企業・団体等との連携も有効に活用していかなくてはなりません。

地域に良好な経済効果をもたらす、市民一人ひとりの郷土愛が助長され、住民参加の街づくりを進めることができるようにこれからの観光振興を目指していきます。

デスティネーション キャンペーン始まる！

来年秋田県で本番を迎えるデスティネーションキャンペーンに向けて、今年はプレDCが開催されます。
ここでは、DCとは何かを紹介します。

デスティネーション キャンペーンとは？

デスティネーションキャンペーン（以下DC）とは、JR全6社（北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州）と指定された自治体、地元の観光事業者などが協働で実施する国内最大規模の観光キャンペーンであり、「全国のお客様を秋田県に！」というJRグループ全体のキャンペーンです。

これまで秋田県で行った キャンペーンの回数は？

県では、昭和59年と平成9年、そして来年の平成25年を含めると3回実施することになります。

裾野の広い産業である 観光に期待

景気低迷や雇用情勢の悪化などが重なり、市内外においても閉塞感が漂っているのが現状です。そのため、裾野の広い産業である観光に期待する声は、日に日に大きくなっています。

また、東日本大震災の影響により、市内外の観光施設や宿泊施設は大きなダメージを受けていますが、こうした中でDC開催が決まったことは、秋田県全体の観光に光明を投げかけてくれるものです。

平成25年の春には、秋田新幹線こまちの新型車両（E6系）が導入されます。DCの開催期間は、それに合わせて同年10月1日から12月31日となりますが、今秋のプレキャンペーンを皮切りに、来年の本番、翌年のアフターDCと3年間に渡り、秋田県全体を売り込むキャンペーンが実施されます。

にかほ市のDCに向けた 今後の活動について

◆にぎわいづくり委員会でのおもてなし活動

にぎわいのある観光地として盛り上げるためのにぎわいづくり委員会では、JR等で企画したイベント列車やまち歩き等で当市に訪れた観光客に対する出迎えや手作りプレゼント（くまようじ等）、手を振り隊など、おもてなしの活動や交流人口の拡大に向けた食のPRマップの作成も行いながらDC本番に向けた準備を進めていきます。

◆着地型商品造成に向けた地元資源の掘り起こしやモニターツアーの実施

今年度、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用し、市と市観光協会が連携し、DCに向け、交流人口の拡大や地域の人と資源を有効活用した体験型の着地型旅行商品造成するためのモニターツアーを実施しています。ツアーメニューには、獅子ヶ鼻温泉や元滝伏流水のトレッキング、そば打ち体験、芭蕉が歩いた散歩道、飛良泉の蔵見学等を盛り込みます。地元の案内人等がツアー客を案内し、



鳥海山の伏流水が岩肌一帯を流れ落ちる優美な景観を撮影するツアー客たち

◆観光パンフレットやポスター、 ホームページでの情報発信

にかほ市を、魅力ある観光地として宣伝するため、既存の各種観光パンフレットやリーフレット、ホームページの最新情報への更新を行いながら、市内の観光スポットをPRします。

また、にかほ市の知名度向上を図るために、新規の観光ポスターを作成し、DCを見据えた誘客促進を図ります。

